

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

# たきざわ市議会だより

第13号  
平成 28 年 8 月 15 日  
発行責任者：滝沢市議会議員長  
編集：広報常任委員会

## 「議会報告会」おでんせ会議



議会の活動を市民の皆さんに報告し、より身近な議会をめざして「議会報告会」を実施しました。今年の議会報告会は、5月23日から6月27日までの限られた期間でしたが、全13会場で開催し、24自治会、200名の方々のご参加をいただきました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、9月に行われる「平成27年度歳入歳出決算審査」の場で市当局への質問や議員間でを行う討議に活用させていただきます。

また、ご意見の中から特に地域重要な案件と思われるご意見は各常任委員会で取り上げ、所管事務調査として当局より聞き取り調査、先進地等の視察などを行ったうえで皆さまにご報告してまいります。

滝沢市議会にはみなさんからのご意見をもとに活動しています。今後ぜひ機会を捉え、ご参加していただき、ご意見、ご感想をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

5月23日  
元村地区8自治会合同  
ふるさと交流館



**平成28年度の  
予算の内容について**

「民生費の主な内容」  
「歳入歳出の項目説明」  
「陸大学の支出項目」等の質問がありました。

また、市当局と議会へのご意見として「高齢者に向けた事業、サービス等に上限を設けるべきでは」「議員定数の削減などいただきました。

**地域の課題について**

「元村中央にコミュニティ施設を要望」「独り暮らし高齢者の個人情報把握の仕方」「独り暮らし高齢者の議会の対応策」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「独り暮らし高齢者のネットワークの構築」が取り上げられました。

5月26日  
北・南一本木自治会合同  
一本木「ミセン」



**平成28年度の  
予算の内容について**

「番号制度」について質問がありました。

**地域の課題について**

「学童保育の現状、具体性」について質問があり、その後ワークショップの中で地域の課題として「道路・通学路問題」「高齢者の交通手段の確保」「少子化対策」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「少子化対策への取り組み」が取り上げられました。

報告会に参加して「議会調査内容のもとと具体的な説明が欲しい」「前回より話し合いができた、地域課題の報告が良かったのでは」とのご意見もいただきました。

5月27日  
巢子自治会  
巢子集会所



**平成28年度の  
予算の内容について**

「予算の中で27年度が突出している理由」「民生費で特に大きい部門は」「等の質問がありました。

**地域の課題について**

「高齢者対策について見守り以外に具体策はないか」「巢子地区の「ミセン」施設を要望しているが現状は」。

また、市当局へは「住民同士のコミュニケーションをはかるために」「早期に「ミセン」を設置してほしい」等のご意見が出されました。

その中から地域の重要な課題として「巢子地区のコミュニティ施設の建設」が取り上げられました。

また、「もう少し時間があればなおよかった」「市議会と市役所、市民のつながりを多くして」とのご意見もいただきました。

5月27日  
滝沢パークタウン自治会  
滝沢パークタウン集会所



**平成28年度の  
予算の内容について**

「財政運営で大きな借り入れの返済とは」「民生費の主な内容」「民生費以外の項目の内容」等の質問がありました。

**地域の課題について**

滝沢パークタウン自治会からはワークショップの中でさまざまな意見が出されましたが、地域の重要な課題として「高齢者対策としての交通問題」が取り上げられました。

また、現在世帯数157戸で、集会所補修のための資金が不足しているし、今後が心配であるとの意見が出されました。

そのほか「質問への回答が不十分」「特産物の販路ができていない」「特産物のPRが弱い」や、「財政状況が悪いのであれば、事業を止めて支出を抑えることも考えて」と等の厳しいご意見もいただきました。

5月28日  
小岩井自治会  
小岩井地区「ミセン」



**平成28年度の  
予算の内容について**

「予算については大まかで問題点が分かりづらい」とのご意見をいただきました。

**地域の課題について**

小岩井自治会の皆さんからは、重要な地域の課題として以前から要望している「小岩井駅周辺の整備を取り上げてほしい」との意見から、1つのテーマでワークショップを行いました。

特にも「子どもたちの安全を守るためにも駅舎、駅前の整備を早急に行って」等のご意見も出されていきました。

また、「地域が抱えている課題をじっくりと聞いてもらえ良かった」とのご意見もいただきました。

5月28日  
滝沢NT自治会  
ニューシビックセンター



**平成28年度の  
予算の内容について**

「27年度予算規模が大きいのはなぜか」「ふるさと納税の内容」等について質問がありました。

**地域の課題について**

「除雪体制が不備」「ごみステーションの表彰制度の対象変更」「保育施設の不足での待機児童」等が出されました。

また、市当局へは「独居高齢者の情報使用基準を明確に」「特産品販売の場所が不明」「PR不足」等のご意見が出されました。

その中から地域の重要な課題として「除排雪について」が取り上げられました。

また、「もう少し、身近な問題と関連つけて報告してほしい」「時間が少なく課題が多すぎると思った」とのご意見もいただきました。

# 滝沢市商工会 ～中小企業振興について～

全国的に中小企業振興基本条例が制定され、県内では、一関、北上市で実施している。この条例は理念条例で、

強い個性的な中小企業を育てることが企業誘致に代わる重要施策ではないか。中小企業は大企業が取

り組めない事業形態もある。滝沢にしかないものを活かして商工会も取り組んでいきたい。中小事業者が廃業し、空き店舗も増えていることから、対策として、

中小企業振興基本条例は初めて聞いた。市においてこの条例をメ

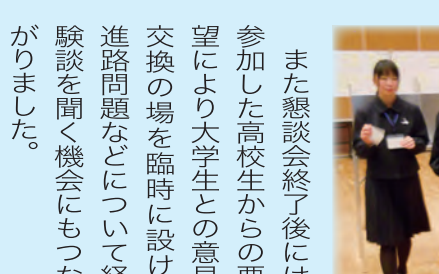
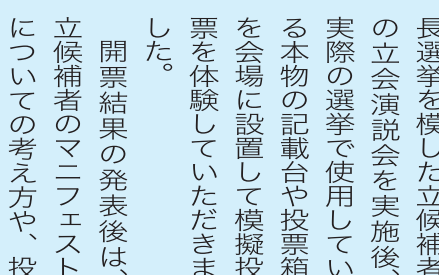
インとして進めることが重要である。滝沢は業者の数が少ない。盛岡は地元の業者と外の業者を分けて配分している。共同企業体を組むなど工夫も必要。議会では以前より

その他にもたくさん意見が出されましたが、時間の都合で後日回答することで終了しました。委員会では、今後、更に商工会との懇談の場を設けて中小企業振興基本条例や市の発注工事の見直し等、地域循環型の移行に向け、調査・研究を進めることが大切と考えます。



# 市民懇談会 高校生・大学生 開催しました ～市民参加の大切さについて～

議会では、広く市民の皆さまから市政ならびに議会に対するご意見やご要望を伺う機会を各種設けておりますが、そのひとつである市民懇談会を5月21日ふるさと交流館で実施しました。今回は本年6月から適応された選挙権年齢の引き下げに伴い、その対象となる市内在住、または通学している方にご参加いただき、行政に対する市民参加の大切さとその具体的な行動のひとつである選挙での投票について取り上げました。



始めに滝沢市の紹介ビデオ「滝沢スカイウォーカー」の視聴や資料の説明を通して滝沢市の現状について理解を深めていただきました。

その後全議員とともに6グループに分かれ滝沢市の課題や将来像についてワークショップ形式で意見交換を行いました。

ここでは「通学路の除雪徹底や街灯の整備」「通学用公共バス路線の充実」「学習環境の向上」など学生・生徒ならではの視点から各種の提言があったほか、産業の振興

や観光推進、特産品の開発など幅広く建設的な意見が出されました。

票の判断基準など参加者各自が忌憚のない意見交換を行い、選挙投票活動への意義や大切さを学ぶ一助になったものと思われました。

当議会として今後も同様な機会を通して議会活動に対する市民の皆さまからの貴重なご意見を伺う機会を定期的に設けたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

当日ご参加いただいた学生・生徒ならびに関係者の皆さまに御礼申し上げます。

4～6月会議の傍聴者 81名  
～お知らせ～  
◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧ください。  
◎議場・議会事務局は市役所4階です。  
◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承ください。



## 8～9月 議会の予定

8月31日(水)	議会運営委員会	9月16日(金)	予算決算常任委員会 ※
8月31日(水)	全員協議会	9月20日(火)	予算決算常任委員会 ※
9月7日(水)	9月会議 ※	9月21日(水)	予算決算常任委員会 ※
9月9日(金)	各常任委員会	9月23日(金)	予算決算常任委員会 ※
9月12日(月)	9月会議 ※	9月28日(水)	予算決算常任委員会 ※
9月13日(火)	9月会議 ※	9月30日(金)	9月会議 ※
9月14日(水)	9月会議 ※		

このほか常任委員会ごとに、随時日程を決定し活動します。  
※は、本議会議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

議会事務局 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55 TEL.019-656-6591 FAX.019-684-4195  
http://www.city.takizawa.iwate.jp/ E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp



見もいただきました。また、「予算等難しい話でしたが理解できました」「もっと余裕を持ってやれるよう時間の工夫をしてほしい」とのご意見もいただきました。



他にも「地域課題の再確認ができてよかった」「他地区の課題を知ることができ参考になった」「今後も継続を望みます」等のご意見もいただきました。



また、「議員には出された課題に本気で取り組んでいただきたい」「議員と直接話せてよかった」「地域の課題だけでなく、住民の声、要望を聞く会に改めるべき」等のご意見もいただきました。



「除雪問題」「高齢者の個人情報使用基準を明確に」「保育施設が足りない」「熊対策」等のご意見が出されました。



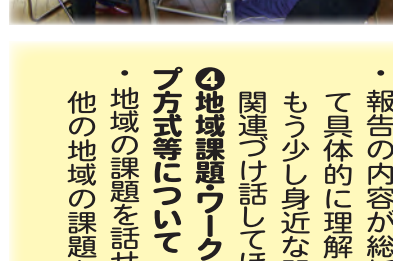
また、「湖山図書館の閉館期間の短縮」「介護などの福祉施設を誘致すべき」「滝沢市が他に自慢できるようにアイデアを出して」等のご意見をいただきました。



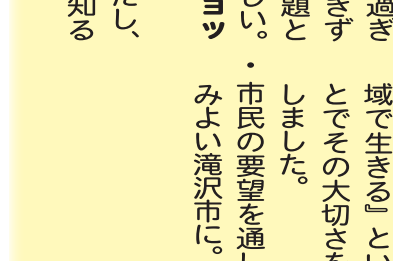
「火葬場建設は「広域化でゴミの焼却場はどうなる」等について質問をいただきました。また、「湖山図書館の閉館期間の短縮」「介護などの福祉施設を誘致すべき」「滝沢市が他に自慢できるようにアイデアを出して」等のご意見をいただきました。



「大釜グラウンド道路の整備」「雫石川の護岸工事を早急に」「土呂シャーンボ付近の、雨水排水対策」等のご意見が出されました。



「3月に予算が可決され、すぐ6月会議で修正予算が上程された経緯を知りたい」との質問をいただきました。また、「当局の計画が甘い、議会は厳しく監視すべき」とのご意見をいただきました。



「報告会について」情報共有のため継続を。開催時期・時間等を検討し数多くの人に集まってもらう努力を。◎参加者の本音・要望等について市ふるさと納税についてはじめて知った。改めてPRしてほしい。除雪問題で盛り上がりました。放課後児童クラブにもっと予算をつけ大事に子供を育てる必要あり。◎参加者の感想等問題意識を持って「地域に貢献する」事が「地域で生きる」ということとでその大切さを認識しました。市民の要望を通して住みよい滝沢市に。

5月31日  
長根・南郷千原自治会  
勤労青少年ホーム  
平成28年度の  
予算の内容について  
「財政調整基金の状況」「民生費、総務費の具体的な内容」等の質問がありました。

5月31日  
鶴飼南自治会  
鶴飼地区「ミゼン」  
平成28年度の  
予算の内容について  
「市債の状況」「事業予算が少ないのでは、等の質問がありました。

6月2日  
いずみ菓子NTT自治会  
いずみ菓子NTT集会所  
平成28年度の  
予算の内容について  
「予算の内容は文書配布で十分。短時間で説明されても理解できない」とのご意見をいただきました。

6月3日  
篠木・大沢自治会合同  
多目的研修センター  
平成28年度の  
予算の内容について  
「複合施設等大規模施設の運営に一般財源を充てているが今後の財政運営は」「借入れの返済は」「民生費の内容」等について、また、議会に対して「議員報酬の引き上げ」「議員定数」等の質問がありました。

6月6日  
上の山自治会  
上の山団地集会所  
平成28年度の  
予算の内容について  
「火葬場建設は」「広域化でゴミの焼却場はどうなる」等について質問をいただきました。また、「湖山図書館の閉館期間の短縮」「介護などの福祉施設を誘致すべき」「滝沢市が他に自慢できるようにアイデアを出して」等のご意見をいただきました。

6月9日  
鶴飼中央自治会  
下鶴飼集会所  
平成28年度の  
予算の内容について  
「説明の際、分からない用語が多かった」「放課後児童クラブには、もっと予算をつけて」とのご意見をいただきました。

6月27日  
大釜上・南自治会合同  
大釜地区「ミゼン」  
平成28年度の  
予算の内容について  
「3月に予算が可決され、すぐ6月会議で修正予算が上程された経緯を知りたい」との質問をいただきました。また、「当局の計画が甘い、議会は厳しく監視すべき」とのご意見をいただきました。

6月27日  
大釜上・南自治会合同  
大釜地区「ミゼン」  
平成28年度の  
予算の内容について  
「3月に予算が可決され、すぐ6月会議で修正予算が上程された経緯を知りたい」との質問をいただきました。また、「当局の計画が甘い、議会は厳しく監視すべき」とのご意見をいただきました。

アンケート内容の紹介  
議員への感想  
女性議員がいたので話しやすいです。  
議員の事前の準備、意気込み、良好で今までにない新鮮さを感じました。  
小岩井住民の歯車りを議員さん方に感じてもらえたかどうか？  
議員は出身地域だけにむろろ「住民の声を聞く会」に改めるべき。  
◎報告会について  
情報共有のため継続を。開催時期・時間等を検討し数多くの人に集まってもらう努力を。  
◎参加者の本音・要望等について  
市のふるさと納税についてはじめて知った。改めてPRしてほしい。除雪問題で盛り上がりました。放課後児童クラブにもっと予算をつけ大事に子供を育てる必要あり。  
◎参加者の感想等  
問題意識を持って「地域に貢献する」事が「地域で生きる」ということとでその大切さを認識しました。市民の要望を通して住みよい滝沢市に。

**Q 社会保障の行政サービスのあり方は**  
**A 最低限度の環境基準を明らかにしながら進めます**

【問】社会保障等の行政サービスのあり方は。  
 【答】消費税率引き上げ延期により影響が及びます。市の義務的経費の予算は約63億、民生費全体の9割を超えます。確実に実施するためサービスの最低限度の環境基準を明らかにしながら進めます。

**Q 小岩井駅前整備の見直しは**  
**A 地域やJRとの協議を継続し段階的な整備を検討します**

【問】大規模校におけるサポート体制は。  
 【答】県からの教員の加配や市の特別教育支援員や図書館司書の配置をしています。今後もきめ細やかな指導ができるようサポート体制の充実を図ります。

**Q 命の尊さの取り組み**  
**A 復興教育や情報教育を通して命の尊さについて取り組んでいます**

【問】命の尊さの取り組みは。  
 【答】復興教育や情報教育を通して命の尊さについて取り組んでいます。今後は、子供と学校が連携するともに、あわせて地域・行政の五者が一体となって各実践

**Q 降雨によるトンネル工事の残土流出対策は**  
**A 沈砂地の増設やフィルターを設置し流出を抑えます**

【問】宮古盛岡横断道路手代森トンネル工事における残土を、相の沢牧野に受け入れていますが、降雨により土砂が下流に流れています。土砂流出の対策は。  
 【答】昨年10月の降雨で河川に土砂が流れたため受け入れを止め、沈砂地を増設し土のうを積み、さらにフィルターを設置するなど、対策を講じています。

**Q 住宅用火災警報器の購入助成は**  
**A 購入助成は考えていません**

【問】18年に義務づけられた住宅用火災警報器の本体交換や電池交換を助成するのか、または自治会での共同購入を広めるのか。  
 【答】早期に設置された警報器は交換時期を迎えており、滝沢消防署と連携し、自主防災活動の初期消火訓練などを通じ周知します。購入助成は考えていませんが、共同購入によるコスト削減が見込める場合は、負担軽減のため自治会等との協力を考えます。

**Q 交流拠点複合施設の運営は**  
**A オープンに向け指定管理者とともにサービス向上に努めます**

【問】交流拠点複合施設の運営は。  
 【答】オープンに向け、指定管理者と開館の準備を進めるとともに、開館後は市民の交流や賑い、生きがいの創出に取り組めます。

**Q 市制移行2年半が経**  
**A 市制移行2年半が経**

【問】市制移行2年半が経っているが、本市の取り組みは。  
 【答】19年10月から「消防団協力事業所表示制度」を導入し、表示証を市内の2事業所に交付し、ご協力をいただいています。大学等の協力は、昨年度、岩手県立大学のご理解をいただき、大学祭において消防団PRブースを出展し、学生の加入促進に努め、昨年度1名の学生が入団しています。

**Q 老人福祉センターや公民館の改装と、ビッググループ滝沢の新築にもなる市民サービスの影響は。**

【問】老人福祉センターや公民館の改装と、ビッググループ滝沢の新築にもなる市民サービスの影響は。  
 【答】改装中は他の施設を利用していただくなど広報紙で周知させます。

**Q 国保広域化に伴う検討内容と進捗状況は**  
**A 市町間に不公平が無いよう検討している段階です**

【問】国保広域化に伴う検討内容と進捗状況は。  
 【答】国保広域化に伴う検討内容と進捗状況は、市町間に不公平が無いよう検討している段階です。

**Q 市町間に不公平が無いよう**  
**A 市町間に不公平が無いよう**

【問】市町間に不公平が無いよう検討している段階です。  
 【答】市町間に不公平が無いよう検討している段階です。

**Q 市制移行2年半が経**  
**A 市制移行2年半が経**

【問】市制移行2年半が経っているが、本市の取り組みは。  
 【答】19年10月から「消防団協力事業所表示制度」を導入し、表示証を市内の2事業所に交付し、ご協力をいただいています。

**Q 市制移行2年半が経**  
**A 市制移行2年半が経**

【問】市制移行2年半が経っているが、本市の取り組みは。  
 【答】19年10月から「消防団協力事業所表示制度」を導入し、表示証を市内の2事業所に交付し、ご協力をいただいています。

**Q 市制移行2年半が経**  
**A 市制移行2年半が経**

【問】市制移行2年半が経っているが、本市の取り組みは。  
 【答】19年10月から「消防団協力事業所表示制度」を導入し、表示証を市内の2事業所に交付し、ご協力をいただいています。

**Q 市制移行2年半が経**  
**A 市制移行2年半が経**

【問】市制移行2年半が経っているが、本市の取り組みは。  
 【答】19年10月から「消防団協力事業所表示制度」を導入し、表示証を市内の2事業所に交付し、ご協力をいただいています。

**Q 市制移行2年半が経**  
**A 市制移行2年半が経**

【問】市制移行2年半が経っているが、本市の取り組みは。  
 【答】19年10月から「消防団協力事業所表示制度」を導入し、表示証を市内の2事業所に交付し、ご協力をいただいています。

**Q 市制移行2年半が経**  
**A 市制移行2年半が経**

【問】市制移行2年半が経っているが、本市の取り組みは。  
 【答】19年10月から「消防団協力事業所表示制度」を導入し、表示証を市内の2事業所に交付し、ご協力をいただいています。

※建設中の『交流拠点複合施設』(平成28年7月撮影)

# 一般質問《6月会議》



**Q 大型事業の説明を丁寧にすべきでは**  
**A 滝沢中央小学校建設や小岩井駅の事業見直しを丁寧に説明します**

【問】大型事業の説明を丁寧にすべきでは。  
 【答】滝沢中央小学校の建設は、この6月議会ですす予定を変更し、9月までに方針を示します。

**Q 将来市営の墓地を造成する考えは**  
**A 市営の墓地造成は考えていません**

【問】将来市営の墓地を造成する考えは。  
 【答】市営の墓地造成は考えていません。

**Q 内部障がい者に対する施策は**  
**A 医療費や用具費の支給事業に取り組んでいます**

【問】内部障がい者に対する施策は。  
 【答】医療費や用具費の支給事業に取り組んでいます。

**Q 内部障がい者に対する施策は**  
**A 医療費や用具費の支給事業に取り組んでいます**

【問】内部障がい者に対する施策は。  
 【答】医療費や用具費の支給事業に取り組んでいます。

**Q 内部障がい者に対する施策は**  
**A 医療費や用具費の支給事業に取り組んでいます**

【問】内部障がい者に対する施策は。  
 【答】医療費や用具費の支給事業に取り組んでいます。

**Q 金融機関との連携協定における構想は**  
**A 金融機関の得意とする分野での連携協力を進めています**

【問】金融機関との連携協定における構想は。  
 【答】金融機関の得意とする分野での連携協力を進めています。

**Q 金融機関との連携協定における構想は**  
**A 金融機関の得意とする分野での連携協力を進めています**

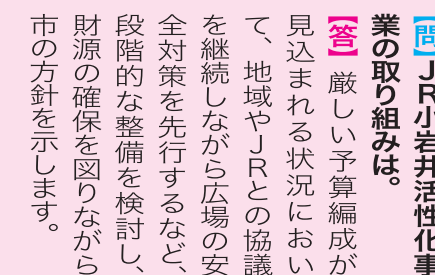
【問】金融機関との連携協定における構想は。  
 【答】金融機関の得意とする分野での連携協力を進めています。



小田島 清美 議員



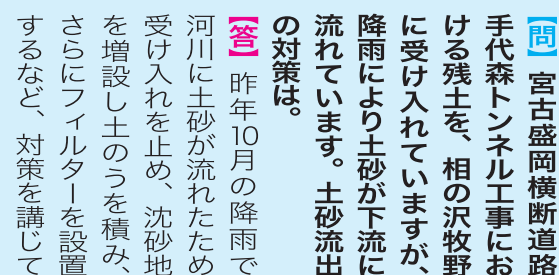
桜井 博義 議員



日本共産党



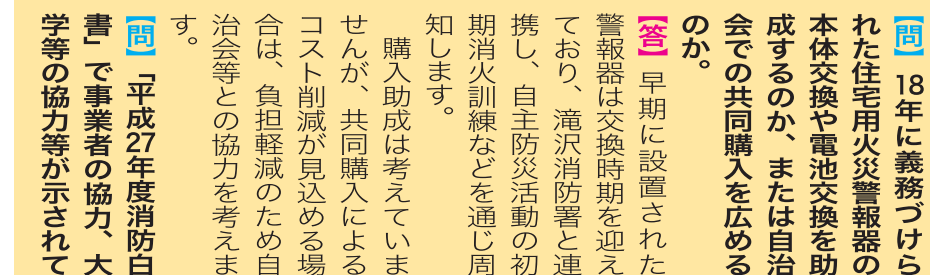
宮古盛岡横断道路



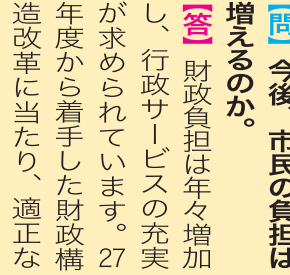
相原 孝彦 議員



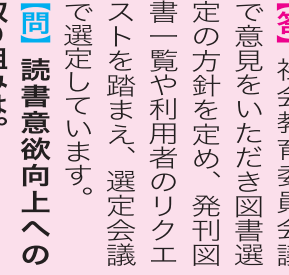
公明党



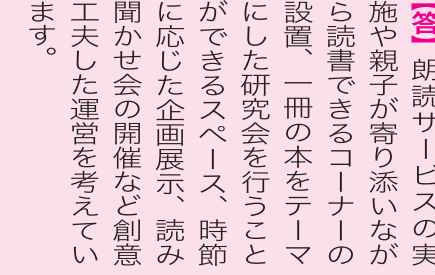
日向 裕子 議員



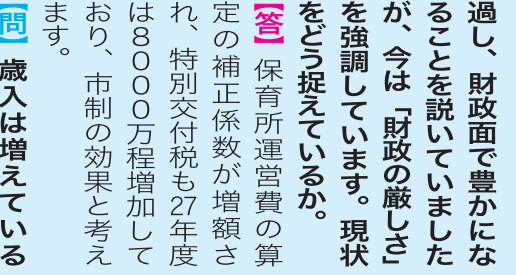
川村 守 議員



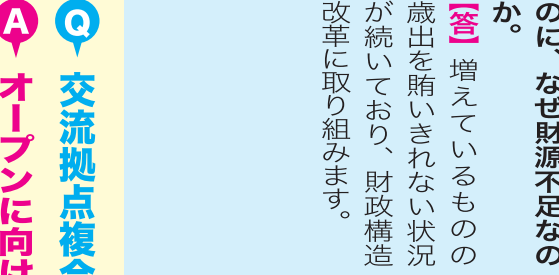
仲田 孝行 議員



日本共産党



新志会



武田 哲 議員



山谷 仁 議員



高橋 辰雄 議員

# シリーズ第2回 「議会評価」を受けて ～課題解決能力～

議会では28年3月に「議会評価」を実施し、現在の議会の状態を明らかにしました。「市民参加」「課題解決能力」「意思決定能力」「透明性」の4つの項目で評価したため、細かな内容や今後の取り組みのポイントを、シリーズで詳しくお知らせします。

## 議会の現状は

シリーズ第2回目は、地域の課題を、議会として解決する「課題解決能力」の項目です。

①各委員会の所管事務調査報告の内容  
 ②市民参加との関連性  
 ③議会独自の視点  
 という3つの視点で、

『1』 早急に改善が必要な状態  
 『2』 改善が必要な状態  
 『3』 良好な状態  
 『4』 十分良好な状態  
 『5』 理想の議会像  
 の5段階で評価しました。その結果は、下の表の中の「ア」欄のとおりです。

さらに、議会評価を実施する際に、今後めざしていく状態も定めており、その内容は表中の「イ」欄のとおりです。

## 今後の取り組みポイントは

『現状』と『今後めざしていく状態』を比較し

## 【課題解決能力】における議会評価の結果

3つの視点	評価内容	ア：H27 評価結果⇒現在の議会の状態	イ：めざす状態
① 各委員会の所管事務調査報告の内容	地域課題を解決するために、どの程度市民福祉の向上につながる調査研究ができたか。	『2』地域課題を意識し、委員会において、課題の解決方法等に係る調査研究が行われているが、本質を的確に捉えていないことから、その成果が不十分である状態。	『3』地域課題の本質を捉え、委員会において、課題の解決方法等に係る調査研究を行い、その成果が情報として議員間で共有されている状態。
② 市民参加との関連性	市民から寄せられた意見(地域課題)を踏まえた調査研究が、どの程度できたか。	『3』調査研究の内容が、「市民参加」で市民からいただいた意見を基に行われ、その成果が市民に提供されている状態。	『4』政策提言、政策立案の内容が、「市民参加」で市民からいただいた意見を基に熟慮してまとめられ、その成果が市民に提供され、市民が評価している状態。
③ 議会独自の視点	市民から寄せられた意見とは別に、議会独自の視点での調査研究が、どの程度できたか。	『3』調査研究の内容が、政策評価結果に基づいた「行政の政策にも掲げられていない議会独自の視点」を扱っており、議会の存在価値を高め、その成果が市民に提供されている状態。	『4』政策提言、政策立案の内容が、政策評価結果に基づいた「行政の政策にも掲げられていない議会独自の視点」を扱っており、議会の存在価値を高め、その成果を市民が評価している状態。

た結果、今後何をすべきかなければならないのかという、取り組みのポイントが明らかになりました。

具体的には、例えば地域課題解決のための行政の取り組みを、議会として評価し、議会活動に繋

げていく仕組みづくりや、市民の意見をいかに議会活動に反映させるかの仕組みづくりなどが挙げられます。

これらのポイントを基にして、今後も議会改革を続けてまいります。

## 所管事務調査報告

# 独り暮らし高齢者の見守りについて 環境厚生常任委員会

独り暮らしの高齢者については、さまざまな角度からの見守りが必要の方が多数います。

しかし、市が行う各種サービスを受けていない方など、本来見守りが必要であるにもかかわらず、見守り対象になっていないケースが存在しており、この課題の解決に向けて調査研究を行いました。

## 【報告の概要】

滝沢市健康福祉部では、高齢者支援課、地域包括支援センター及び社会福祉協議会、また、各自治会、民間企業の協力により各種サービスが重層的に展開され、一定の成果を上げていることが確認できた。

一方課題として、対象高齢者全員のニーズ把握や意向調査、情報の一元化や関係者による情報の共有化などが明らかとなった。その一つに独居高齢者2384人(27年12月末現在)の内、実態把握が出来ていない高齢者が少なからずいるということがある。

また、福祉サービスの基本が住民からの申請主義であるため、日々の生活に不安や不便を感じながらも、福祉サービスの種類や内容を知らない高齢者が多く存在することや、現在は見守りが不要ながら近い将来はサービスが必要となる可能性が高い高齢者や、公的支援そのものを望まない高齢者の問題も浮上した。

これらのことから、以下の取り組みを提案するものである。

①対象者全員(一人暮らし高齢者2384人)に対する一斉調査の実施  
 ②現在行われている各種支援サービスの総括情報提供  
 ●郵送による文書発送と返信依頼を基本とし、得られた情報は一元管理する。具体的な回答に対しては、それぞれ

の担当課等が責任を持って対応。  
 ●高齢者に対する支援策(社会福祉協議会の生活支援)及び生きがい支援(睦大学、生き生きサロン)のお知らせの一斉送付により、市の制度や事業を周知。  
 ●アンケート等を送付し、ハガキや封書で回収。  
 ③無回答、又は返信のない対象者に対する対応(ニーズ把握の対象者としてとらえる)  
 ●職員が足を運んで、対面調査を実施する。  
 ●地域包括支援センターをはじめ、社会福祉協議会、民生児童委員、必要に応じて自治会組織、自主防災組織、消防団等関係機関の協力も視野に入れたローラー作戦的な取り組みを行うことで、完成度の高いニーズ把握が可能となる。

④市役所内の高齢者の福祉サービスに関するシステムの改善により、情報の共有化を図るとともに漏れない体制作りが可能となる。  
 これらのことは、責任を持って行政が主体となり一定期間ごとに実施し、実態や要望を把握す

# 除排雪体制について 産業建設常任委員会

本市の除雪計画では、市道及び市が管理する道路について、「地域のために何ができるか」という考え方に基づき、市と地区住民が一体となって「自分たちの雪は自分で処理する」という意識

の下、除雪を実施することとしています。その中において、冬期の快適な道路環境の形成をめざし、現状課題の解決に向けて、調査研究を行いました。

27年度において、各委員が地域を分担して除雪の状況等を調査したが、例年より降雪量が少なかったことから、除雪出动回数、市民からの要望・意見等も少ない状況であった。

市は、18年度から各自治会にて除雪懇談会を行い、市民の意見・要望等を受けて除排雪事業に取り組んでいる。しかしながら、降雪量の少なからず、27年度においても「早期の除雪」「除雪の仕上がりに関するもの」についての要望・意見が例年どおり多い傾向にあった。

その中で、1点目として、ある地域では除雪機オペレーターを確保し、地域主体の除雪も実施されているが、地域ごの実情もあり、オペレーターの確保、自治会への支援が必要となる地域もある。

2点目は、地域との協

働による道路除雪を推進するために貸与している「小型ロータリー除雪機」について、作業日誌等で活用状況を的確に掴み、必要な地域には複数配備する、あるいは大型にするなど柔軟に対応することが求められている。

3点目は、除雪の実施基準がだまかになっていく。10センチ以上の降雪で出る動としているが、すべての市道が該当なのか、主要道路のみなのか市民に分かりにくく、実施基準の見直しを含め、再検討すべきである。

4点目は、地域の声・実情を把握し、初動体制を確立するため、モニター制度の導入を検討すべきである。

今後は高齢者世帯が多くなり、市がすべてに対応することは困難であるが、日頃から連携が充分取れている地域は、排雪も含めて体制が確立されており、各地域において協働体制を進めることが大切である。

除雪課題は、毎年市民要望の強いもの一つに挙げられており、今後も継続した調査が必要と考えられる。

各地域において、道路整備の要望は多岐にわたっており、歩道の整備、道路の拡張、補修整備等の必要性が挙げられています。地域ごとの課題の解決に向けていくことが必要であることから、調査研究を行いました。

当委員会では、市民から寄せられた意見の中から、今回は特に需要度の高い歩道、交差点を中心に現地を確認しながら調査を行った。

市内の大動脈である主要地方道盛岡環状線については、市民からの改善要望が多く、市は管理者である県に対して継続的に要望しており、県においても改良整備の必要性は認識されているが、改善には至っていない。

特に滝沢南中学校入口付近の車道の拡幅と通学路の歩道整備は喫緊の課題と考える。

また、滝沢ふるさと交流館前の交差点については、一部右折車線がないことから非常に危険であり渋滞にも繋がっているため、改良が必要である。次に、牧野林すずの音保育園前の道路については、盛岡環状線を通る通過交通に多く利用されているが、一部拡幅されているが、保育園の北側には市の用地に余裕もあることから、さらなる拡幅整備は可能と考える。

市道巢子野沢線については、地域から特に歩道の整備についての要望が強く出されていることから、早急に整備されるべきと考える。

通学路については学校によって指定されている所もあるが、その指定されている道路が一車線で歩道も整備されていない所もある。

滝沢中学校の自転車通学路は危険度が高く、整備を検討すべきである。

看護大付近の変則十字路については、横断歩道前の歩行者安全確保と大型車両のすれ違いの緩和のため、一部改良を早急に検討すべきである。

このように、子どもや高齢者をはじめとする地

# 道路整備状況について 産業建設常任委員会

域住民が安全に利用できる道路の整備が求められており、今後、市の道路整備計画に反映されるべきと考える。

『所管事務調査』とは、議会の常任委員会が、地方公共団体に関する事務について自主的に調査研究することを言います。この調査は、地域課題の解決につなげるなどの目的があり、調査結果を議会内で共有し、その後の議会活動に役立てることができます。議会では、議会報告会等で寄せられた皆様のご意見も参考に、委員会ごとに「所管事務調査」のテーマを設定しています。

## 議会用語ピンポイント解説

### 産業建設常任委員会

①現状調査

②現地調査

①調査終了、報告書作成  
②調査終了、報告書作成

①調査報告書提出  
②調査報告書提出

### 環境厚生常任委員会

①当局から聴取・質疑(都市整備部)  
②当局から聴取・質疑(都市整備部)

②当局から聴取・質疑(健康福祉部)

①当局から聴取・質疑(健康福祉部)  
①関連団体から聴取・質疑(滝沢市社会福祉協議会)

①調査終了、報告書作成

①調査報告書提出

### 総務教育常任委員会

③当局から聴取・質疑(教育委員会)

①当局から聴取・質疑(企画総務部)  
②当局から聴取・質疑(市民環境部)

委員間討議による協議調整

①当局から聴取・質疑(企画総務部)  
②当局から聴取・質疑(市民環境部)

委員間討議による協議調整

調査済み以外の項目について引き続き調査を進め、順次報告を取りまとめる予定

H27 8月

9月

10月

11月

12月

H28 1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月以降

# 常任委員会での調査研究 ～1年の活動を振り返る～

昨年7月の改選以降、原因の課題を抽出し、追及や課題解決手段など、市民懇談会などで寄せられた委員会で調査研究してきました。

改選から1年が経過した。地域課題の解決につながる「総務教育」「環境厚生」「産業建設」の3つの常任委員会の1年間の活動内容をお知らせします。

# 議決一覧(4月会議)

## 全員賛成で議決した議案

議案第 1 号	平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第1号)
---------	------------------------

## 賛否が分かれた議案

投票結果 ○賛成 ×反対 ※1 長内信平議員は議長であるため採決には加わりません		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
		齋藤明	武田哲	日向清一	仲田孝行	小田島清美	高橋辰雄	稲荷場裕	日向裕子	川村守	藤原治	桜井博義	相原孝彦	角掛邦彦	松村一	工藤勝則	遠藤秀鬼	山谷仁	佐藤澄子	長内信平				
発議第 1 号	陸上自衛隊岩手駐屯地の体制維持と周辺地域の環境整備を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	※1	18	16	2

発議			
件名	陸上自衛隊岩手駐屯地の体制維持と周辺地域の環境整備を求める意見書		
内容	地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献している岩手駐屯地の現体制を維持するとともに、市民生活の安全・安心を確保するため、より一層の周辺地域の環境整備を図るよう強く要望する。		
提出先	衆議院議長 大島 理森 参議院議長 山崎 正昭 内閣総理大臣 安倍 晋三	防衛大臣 中谷 元 内閣官房長官 菅 義偉	※敬称略

### 議会用語 ピンポイント解説

『発議』とは、議員や委員会が、議事の対象となるべき問題を議長に提出することを言います。

今回の場合「陸上自衛隊岩手駐屯地の体制維持と周辺地域の環境整備を求めるべきである」という発議が議員から出されたため、議長が採決を行いました。

採決の結果、賛成多数で可決となったことから、上記の内容の意見書を議会として内閣総理大臣や防衛大臣などに提出しました。

# 議決一覧(6月会議)

## 全員賛成で議決した議案

議案第 6 号	平成 2 8 年度滝沢市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第 8 号	滝沢市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例及び滝沢市ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正することについて
議案第 9 号	滝沢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第 10 号	滝沢市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第 11 号	滝沢市交流拠点複合施設等新築工事請負変更契約の締結について
発議第 1 号	滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例の一部を改正することについて

人事
滝沢市教育委員会委員 同意第 1 号 井上 美津男 氏(63歳) 新任

## 賛否が分かれた議案

投票結果 ○賛成 ×反対 ※1 長内信平議員は議長であるため採決には加わりません ※2 可否同数のため議長裁決により【可決】		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
		齋藤明	武田哲	日向清一	仲田孝行	小田島清美	高橋辰雄	稲荷場裕	日向裕子	川村守	藤原治	桜井博義	相原孝彦	角掛邦彦	松村一	工藤勝則	遠藤秀鬼	山谷仁	佐藤澄子	長内信平				
議案第 1 号	平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	×	×	×		○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	※2	18	9	9	
議案第 2 号	平成28年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	※1	18	16	2	
議案第 3 号	平成28年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	※1	18	16	2	
議案第 4 号	平成28年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	※1	18	16	2	
議案第 5 号	平成28年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	※1	18	16	2	
議案第 7 号	滝沢市議会議員及び滝沢市長の選挙運動の公営に関する条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	18	17	1
発議第 2 号	平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議について	○	×	×	○	×	×	×		○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	※2	18	9	9

### 議案第1号に対する討論

本議案に対して反対意見を述べます。歳入歳出それぞれ1億1003万2千円の減額がありますが、その多くは土木費となっております。その中でもJR小岩井駅前活性化事業は、市内最後の駅前整備事業であり、地域住民の長年の悲願でありました。そのため、今年度内の事業断念は到底認められるものではありません。特に3月の当初予算で調査事業を可決したにもかかわらず、6月の補正でこの予算を減額する事は、事業に対して何も努力しなかったに等しいと言わねばなりません。さらに多くの利用客が関わる問題でありながら議会や地域住民に十分な説明もなく、市としての説明もなかったことは、住民自治日本一を掲げている市の目標とは程遠いものがあります。また、地権者となる程度の合意が得られている状況ではありますが、事業の先延ばしにより、さまざまな弊害が生ずることが予想されます。以上の理由により、平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第2号)に反対するものであります。

### 発議第2号 附帯決議の内容

平成28年度滝沢市一般会計予算は、財政構造改革の中で編成された予算であったが、平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第2号)においては、特定財源が減額されるなど財源の確保が困難になったことにより、さらなる事業の見直しを余儀なくされたものである。

このような状況の中であっても、事業の延期等を行う場合には、市民生活に与える影響を十分に考慮し、市民の声や審議の過程でなされた論議、意見等を真摯に受け止め、市民への丁寧な説明を行った上で慎重に進めること。

やむを得ず延期等を行うことになった事業については、事業の継続に向け最大限の努力をすること。